

おぢ



アメリカ婦人会創立70周年記念おぢがえり

去る、4月17日から20日にかけて、おぢばでの教祖御誕生祭、婦人会総会に合わせ、管内から多くの婦人会員がおぢがえりしました。アメリカ婦人会では今年、一年を通して「創立70周年記念おぢがえり」を実施しています。おぢばに帰られた方、あるいはご予約の方はアメリカ婦人会までご連絡ください。(6頁に写真)

天理教アメリカ伝道庁

No.906



tenrikyo.com

MAY
2023



つらつらせんがく 熟々浅学



— 言葉の意味 —

今月はアメリカ婦人会総会が開催されます。この文章が読まれる頃には既に開催されているでしょうが、一人でも多くの婦人会員にご参集していただければと思っています。

先月に「ひのきしんデー」を行った地区がありますが、今月「ひのきしんデー」を行う地区にお住まいの方々には、是非とも参加していただきたいと存じます。また、諭達第4号に「日頃からひのきしんに励み」とありますように、「ひのきしんデー」のみならず、日々ひのきしんを心掛けていただければ嬉しく思います。

さて、日本語を学習するのは難しいと言われることが多いと思います。同じ漢字であっても前後の文章の意味によって読み方が違うことがあります。

「おふでさき」に「人」と書いてあっても「ひと」と読む場合と「にん」と読む場合があります。前後のお歌やそのお歌の内容によって違う読み方をしますが、日本語を母語としていない人々にとって「人」を「ひと」か「にん」と瞬時に読み分けるのは、かなりハードルが高いのではないのでしょうか。

日本語だけで生じているのではないと思いますが、時代によって意味が変化している日本語の言葉があります。そのため日本語の言葉を英訳するのに苦労することが出てきます。また、同じ言葉であっても前後の文脈から英訳を変えなくてはならないことがあります。

特に若い世代（このように書くと、本当に年齢を取ったと感じます）が話し言葉として使う日本語の意味が、私の世代と違う意味で使われていることがあります。

例えば「ヤバイ」という言葉があります。

「ヤバイ」は、私の日本語理解力からすると「危険」とか「悪い」とか「よくない」という否定的な意味で使うのですが、それが現在では肯定的に使われるなど、さまざまな意味で使われています。

あるサイトに「ヤバイ」の意味の英訳が掲載されていました。

- 1.Cool、
- 2.Cute、
- 3.Terrible、
- 4.Too Bad、
- 5.Beautiful、
- 6.Awesome、
- 7.Dangerous

私の世代は、3、4、7の意味で「ヤバイ」を使っていることが多いと思うのですが、例えば1のCoolの意味では、女子学生がハンサムな男子学生を見て「ヤバイ」と言うことになるのでしょ、2のCuteであれば、可愛い物や人物を見て「ヤバイ」と言うのでしょ。

初めて聞いた時には、このような意味での使い方を理解できませんでしたが、その意味を理解することは若い世代と「同じ土俵（この表現は古いですね）に乗る」ことができるようになると思えば、ちょっと気になる「ヤバイ」の使い方であっても、何とか許容できるようになりました。

大人でも「どうも」と言うことは多いと思いますが、この言葉も多くの意味を含んでいます。状況によってさまざまな英訳が必要です。前述のサイトに「どうも」の英訳が次のように書いてありました。

1. Hello、
2. Sorry、
- 3.Thanks、
- 4.Somehow、
- 5.Domo-kun、
6. Good to see you、
- 7.Nice to meet you

Domo-kunとは日本のテレビ局に出て来るマスコットキャラクターの名前とのこと。

他に「大丈夫」の英訳がありました。

1. It's OK、
2. I'm good、
3. That's fine、

4. I'm all right、5. No Problem、
6. Don't worry、7. No thank you

このサイトには掲載されていませんでしたが、「結構（けっこう）」という言葉があります。私は時折、若者からの「結構（けっこう）」という返事の真意が分からず、確認することがあります。

例えば、レストランでメニューを見ていて、若者に「これを注文する？」などと尋ねた時に「けっこうです」と言われることがあります。それもイントネーションがフラット（平ら）で、身振りも手振りなどの仕草のない返事です。その若者の返事の「けっこうです」は「肯定」の意味なのか、つまり私が「これを」と言ったメニューの品物でよいと「イエス」の意味で言っているのか、それはいらぬという「ノー」の意味で言っているのか分からない時があります。もし「それでけっこうです」と返事されると、そのメニューの品物を注文してほしいと分かりますし、「それはけっこうです」と言われると、その注文はしないでほしいと理解できます。または、少しイントネーションなり強弱を付けて話してもらおうと「肯定」なのか「否定」なのかが分かり易くなります。しかしフラットの言い方で無表情で、首を振るなどの仕草なしで言われると、「どっちなんだろう」と思ってしまいます。

このように考えると、原稿を読むだけで英訳をするのは大変だろうと思うことがあります。突然ですが、「この原稿を英訳してくださっている皆さん、有難うございます。」

さて話を戻します。

言葉はその時の状況や時代によって、意味が変化することがあります。それを理解しておかないと、話の内容がこちらの意図している意味と違って伝わることもあると思うのです。

お道の話をしていて「ヤバイ」を使うことはないでしょうが、教語にしても、時と場合によっては、受け取る側が意味を違えて聞き取ることがあるのではないかと思うのです。また、単語としての教

語ではなく、フレーズ（一文）としての教理用語で誤解を招く場合もあるのではないかと思うのです。

例えば、この度の諭達第4号で引用されている「人救けたら我が身救かる」を短絡的に捉えて、天理教は「ご利益信心」と解釈されることがあります。もちろん、諭達に「ひたすらたすけ一条に歩む中に、いつしか心は澄み、明るく陽気に救われていくとお教え下された」とありますように、私たちはこのお言葉を「ご利益信心」と言われるような捉え方をしていません。

にをいがけ、おたすけをしている時に、私たちは教語や教理用語の使い方に気を付ける必要があると思っています。間違った使い方をしてしまうと、御教えを間違えて伝えることになってしまい、延いては陽気ぐらしから遠のいてしまうことになってしまいます。

御教えを間違えて伝えないようにするためには、先ずは私たち自身がしっかりと教理を身に付けることが肝心です。そのために教理勉強は欠かせないのです。

教理勉強で気を付けなくてはならないことは、教語、教理用語で分からない場合は、先ずは「みかぐらうた」、「おふでさき」、「おさしづ」の三原典を繙くことが大切だと思っています。また、稿本天理教教祖伝、稿本天理教教祖伝逸話篇、更には教祖から直接仕込まれた先人の手記などを当てるのが大切だと思っています。

「教祖の口伝」と言われて根拠のない“教理”には気を付けなければなりません。教内の有名な先生が言っていたとか書いていたとかだけで、出典が明確でなく、根拠のない“教理”に接した時には、先ずはその根拠を調べる必要があります。そして、間違いの無いように御教えを身に付ける努力が大切です。

深谷 洋

立教 186 年 4 月月次祭祭文

これの神床にお鎮まりくださいます親神天理王命の御前に天理教アメリカ伝道庁長に代わり主事岡崎マーロン正朗慎んで申し上げます。

親神様には、世界一れつの子供をたすけたいとの深い親心から、教祖をやしろにこの世の表にお現れになり、たすけ一条の道をお付けくださいました。爾来、教祖がお付けくださった五十年に亘るひながたの道を手本に、御教えを実践し、陽気ぐらしへの道を勇んで歩ませていただいておりますことは、誠に有難く、勿体ない限りでございます。その中にもこの月は、御存命の教祖がお生まれになられました芽出度い縁の月に当たりますので、只今から今日の佳き日に、ぢばの理を頂戴して、おつとめ奉仕者一同、慶び心をもって、陽気に座りつとめ、てをどりをつとめて、当伝道庁四月月次祭を執り行い、併せて、教祖の二百二十五回目のお誕生日をお祝いさせていただきます。

御前には、今日の日を楽しみに参り集いましたよふぼく、信者一同は、日頃賜る御守護に御礼申し上げ、尚も変わらぬ親心を頂戴したいと伏し拝む状をも御覧くださいますして、親神様にもお勇みくださいますようお願い申し上げます。

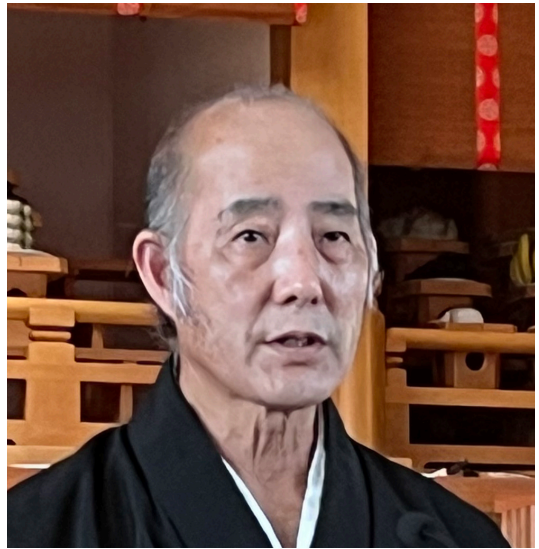
今月は、アメリカ婦人会がおぢばがえり団参を計画して実施しておりますが、ぢばの理を頂戴し、それぞれの土地所に戻りましてから勇み心でたすけの御用をつとめられますようお導きの程をお願い申し上げます。

また、今月から来月にかけて、管内各地でひのきしんデーの開催を予定しておりますが、にをいがけの一助にもなりますようお願い申し上げます。

私共は、教祖百四十年祭年祭活動が始まりましたこの時旬に、世界に見せいただく争いや自然災害に、世界たすけを急き込まれる親神様の思召を思案して、教祖のひながたを頼りに、陽気ぐらし世界実現を目指して邁進し、また、来年の当伝道庁創立九十周年記念祭に向けて、更なる心の成人に励ませていただく覚悟でございます。何卒、親神様には、私共の真実の心をお受け取りくださいますして、世界の人々が互いにたすけ合って暮らせる世の状に、一日でも早く立て替わりますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

4 月月次祭神殿講話

スタックトン教会長
武本 エディ



まず始めに、私はもう人生の半分を教会長として過ごし、今は後継者ができることを願っています。教会長になる前は、自教会の四代会長の息子で、教会を継ぐつもりは全くありませんでしたが、ある別の教会の会長さんから、自分は長男であることから教会を継ぐべきだと言われました。自分と同じように長男ということで教会を継ぐように、と言われた人は他にはいるのでしょうか。自分はいわゆる長男、もしくは後継者ということに関してはまったく気にすることはありませんでしたが、30歳の時、自分の身の回りで起きていることが自分が歳を重ねていくうちに気づけるようになってきました。

ある日、ここ伝道庁月次祭に参拝していた時、板倉庁長先生から天理の海外布教伝道部(現海外部)で様々な国籍の人たちと一年間ひのきしんをしてみないか、とお話を受けました。海外布教伝道部でそんなひのきしんがあることなど知りませんでしたが、人生で何か違うことをやってみようと思い、両親に天理で一年間、海外布教伝道部でひのきしんをしてみたい、と伝えましたところ、母はそれを聞いて一日中動揺して心配をし、父にひのきしんをすることが良い選択なのか尋ねました。すると父は新しいことを経験すること、人生の大きなチャンスに挑戦することはいいだろう、と言い、自分はどうしても行きたかったの、躊躇(ちゅうちょ)することは全くありませんでした。

それは自分にとって5回目のおぢばがえりで、海外布教伝道部は初めてのことでした。詰所のスタッフと私は、毎日ひのきしんをすることを伝えられ、毎日海外布教伝道部の朝礼でおふでさきを読み、基本的にはすべてひのきしんと、日本語の読み書きの勉強でした。また、月次祭の準備ができ

るようになることと、教会で全ての鳴物を勤められるよう稽古をしました。半年経つと、友人と私は、スタッフの方と天理近辺の大教会へ参拝に行きました。

そうして海外布教伝道部でのひのきしん期間の終わりが近づくと、自分の考えが変わりだし、自分の友人や自分は、人生の一部としても、そして自身の心のためにひのきしんを続けるよう教えていただきました。当時はそれが何を意味するのかまだはっきりとわかってはいませんが、その後、今となってもひのきしんは毎日続けています。詰所に帰ってじっくりと考えた時、おぢば滞在が本当に楽しく、アメリカに帰る心の準備はまだできていないことに気づいたのです。

海外布教伝道部でのつとめを終えた後、自分の一番の目標はひのきしんに専念することでしたが、それは達成できたので、次の目標として新しく教会長になることに専念することにしました。おぢばにもう少し滞在して、詰所でひのきしんをしたいと感じ、日本に残るにはいいアイデアだと思いました。それは、親神様が教会を手抜きしないでちゃんと切り盛りできるようにお仕込みしてくださったのだな、と思います。

すると、詰所主任先生がもう少しひのきしんをする気はないか、と尋ねてくれたので、はい、と答えると、「詳細をすぐに返事をす」と返してくれ、後に詰所スタッフの方か

ら「大教会で青年をしなさい」と伝えられました。最初は青年ひのきしんのがよくわからなかったのですが、友人から大教会で日々の御用、早朝神殿掃除、おてふり、にをいがけ、大教会スタッフの前でおふでさきを読むことなどをつとめることだ、と教えてもらい、詰所での一年が終わった時に、大教会で青年つとめを精一杯勤めさせていただくことにしました。

大教会での御用は、細かく分けるとおてふりの稽古で、自由時間は何もすることがなかったので、それに集中し、夕方誰もいない中、空いている部屋で稽古に励みました。これで自教会にて誰の助けも借りずにおつとめができるという自信となりました。毎晩十二下りの稽古をし、お手直しを受けながらついに一人で十二下りが踊れるようになりました。それは自分が大教会で伏せ込むことを決めたので教祖が後押しをしてくれたのだと思います。これで肩の荷が下り、自分の人生も変わりました。そして大教会で青年を二年勤めた後、父の教会を継ぐためにアメリカに帰ることにしました。

私の人生の指導者である守谷(もりや)博(ひろし)先生は、教理や教会運営についていろいろ教えてくださいました。「学んだことや技術は忘れることなく、人様に優しくし、人様の役に立ち、不足することなく、人様に真実を運べば、君の人生は明るくなるよ」とのお言葉を下さり、それは私の心に刻まれ、先生をいつまでも忘れることはないでしょう。

そしてアメリカに戻り、父の教会を1~2年ほど手伝い、父が70代半ばの頃に「教会を継がせてもらいたい」と伝えることにしました。父は明らかに驚いていました。それは父から教会とその立場を取り上げられるように父は感じたみたいで、すぐには返事をしてくれませんでした。父は夫婦で相談し、約1~2週間経ってから交代の時期が来たのだと納得したようです。自分は弟たちと妹にも話をしましたが、彼らからも返事はありませんでした。

以来、26年に渡り、教会を切り盛りし、おさづけを取り次ぎ、ひのきしんやにをいがけをし続けています。ここでパンデミックが始

まる前に遡(さかのぼ)りたいと思います。とても大変だった御用は上級の友人2人が重い身上になったことです。まず、一人は彼の息子のスポーツの試合で応援している最中に胸を押さえながら倒れたのです。すぐに緊急搬送され、私はその話を聞いてすぐに病院へ駆けつけました。到着するとすぐにおさづけを取り次ぎ、数晩経って彼は回復し、リハビリセンターへと転院しました。

おふでさき第一号31から38のお歌は、足の身上についてなのですが、実際は身体全体についての事と解釈できるお歌です。

これまでのごんねんなるはなにの事
あしのちんばが一のさんねん
このあしはやまいとゆうているけれど
やまいではない神のりいふく
りいふくも一寸の事ではないほどに
つもりかさなりゆへの事なり
りいふくもなにゆへなるどゆうならハ
あくじがのかんゆへの事なり
このあくじすきやかのかん事にてハ
ふしんのしやまになるとこそしれ
このあくじなんぼしづといものやどて
神がせめきりのけてみせるで
このあくじすきやかのけた事ならば
あしのちんばもすきやかとなる
あしさいかすきやかなをりしたならば
あとハふしんのもよふはかりを

(おふでさき：第一号 31-38)



私たちよふぼくは親神様の教えを信仰し、その神様は「にんげんハみな月日かしもの」「せかいぢうこのしんぢつをしりたなら、ごふきごふよくだすものわない（おふでさき：第六号 120-121）」とお教えてください。事実、私の友人は全快の御守護を頂き、私の教会の月次祭では、できる限りのお手伝いをしてきています。

それから一年後、今度は別の友人がステージ4の癌であることが判明しました。その彼は偶然にも前述の心臓発作を起こした彼と親類に当たり、私は仕事と病院が近かったので、仕事が終わった後に病院に行き、おさづけを取り次がせてもらいました。

おさづけを取り次いだ後、教会に帰り毎晩十二下りをつとめさせてもらいました。おてふりをさせていただくのは、父がいつもそうしていたからです。父は教会に帰ると十二下りをつとめ、おさづけを取り次げる時はいつもそうしていました。いつも帰ってきてから十二下りをつとめる父を見て、自分は母に「どうしてお父さんは十二下りをするの？」と尋

ねたところ、母は「お父さんは親神様に身上を抱えた人のたすかりをお祈りしているのよ」と答えてくれ、私の教会の初代会長である私の祖父も同じことをしていたと教えてくれました。また、母は私がおたすけの機会を与えてもらったら同じことをし、これは途切れることのないように、と私に伝えました。しかしながらその彼は出直しました。若い友人が出直すのはとても辛かったです。

最後に、論達第四号より少し読ませていただきます。

「成ってくる姿はすべて人々を成人へとお導き下さる親神様のお計らいであると諭され」と、真柱様は教祖のひながたについてお諭しくさせていただきます。

そして、「人救けたら我が身救かる」と私たちはお教えいただきます。

ご静聴ありがとうございました。



アメリカ婦人会創立70周年記念おぢばがえり





伝道庁連絡



4 月月次祭

祭主 岡崎マロン
 扈者 大西 知 中富淳次郎
 賛者 岩橋元博 屋敷ゲーリー
 指図方 上村雄郎
 神殿講話 雪本利清（英）

おつとめ奉仕者任命

5月20日付で、カリフォルニア教会の大西太一氏がおつとめ奉仕者に任命されました。

全教一斉ひのきしんデー

ひのきしんデーを実施された地区の担当者は、実施報告書を伝道庁（担当：森下）までご提出下さい。

第 85 回アメリカ修養会

第 85 回アメリカ修養会が、2023 年 6 月 18 日（日）から 7 月 15 日（土）まで開催予定です。英語クラスに最低人数の規定はありませんが、開講約 1ヶ月前（5月20日）までに、スペイン語クラスは5名以上、日本語クラスは2名以上の申し込みがある場合に限り開講します。

TSA 春季練成会

TSA 春季練成会が 5 月 27 ~ 28 日の日程でアメリカ伝道庁にて開催されます。

今年の練成会のテーマは、「おつとめ - 心のほこりをはらう」です。

申込書は各教会・布教所・出張所に送られており、アメリカ伝道庁のホームページからも入手可能です。

メモリアルデー墓参

伝道庁では、5月29日（月）午前10時より、祖霊殿参拝後、エバーグリーン墓地へ墓参をさせていただきます。

伝道庁宿泊

伝道庁大祭・月次祭の第3日曜日の週末に伝道庁での宿泊を希望される方は、宿泊月の第2日曜日までに食事・宿泊の申し込みを必ず書記までご連絡ください。

アメリカれつ会新規扶養生募集

2023 年のアメリカれつ会新規扶養生の募集を開始します。対象は、管内教会長、布教所長、出張所長の子弟子女で、大学入学が決まっている方です。扶養を希望される方は、伝道庁に願書を用意しておりますので、ご連絡下さい。願書締切は、6月30日（金）です。新規扶養生は8月伝道庁月

次祭時に発表致します。尚、2、3、4 年目の扶養生は、願書の提出はありませんが、休学、転校等があった場合、8月31日までに必ず伝道庁までお知らせ下さい。

「諭達第四号」頒布のお知らせ

おぢば：小冊子 1 冊 50 円、掲示用（A3 サイズ）1 枚 30 円。道友社本社、おやさと書店、東京支社で取り扱います。頒布時間は各店の営業時間に準じます。外国語版は、おやさと書店で頒布します。

伝道庁：小冊子 1 冊 50 セント。
 英語 / 日本語以外の言語についてはお問い合わせください。

各会連絡

ふしん委員会

・オフィス改築の案を構想中。

教化育成委員会

・今年の7月16日～22日におぢばで行われるおやさと練成会の受講申請が正式に受理されました。受講者はコース開始までに別席を8席運び終えておく必要があります。英語の別席に関しては、海外部から連絡があり次第ご連絡させていただきます。
 ・TSA 春季練成会が 5 月 27 ~ 28 日の日程でアメリカ伝道庁にて開催されます。

広報委員会

・90 周年に向けた活動のアイデアを管内の方々が共有できるようにとの思いで、実際に活動している方々の情報を「一れつ・ニュースレター」に連載しております。つきましては、各教会・布教所・地区、また身の周りの方々の活動情報・写真等の提供をお願い致したく存じます。

情報提供先：

川上 (kamishuyo@hotmail.com)

林 (takhayashi@gmail.com)

・一れつ・ニュースレターを、パスワード無しで閲覧出来るようにしました。Resources のドロップダウン内に Publications という項目を設けました。そこをクリックしていただくと、パスワード無しで閲覧できます。また、2021、22 年の Tenri Kids、更に、Tenrikyo Newsletter へのリンクも掲載しています。

・6月号から、一れつ・ニュースレターのサイズを変える予定です。ニューヨークセンターの「せいじん」と同じサイズになります。

翻訳委員会

・教祖伝逸話篇の再翻訳のため、5月27、28日に翻訳小会議がオンラインで開催されます

婦人会

- ・アメリカ婦人会創立70周年記念おぢばがえり団参りが4月17日～20日まで無事に行われました。
- ・アメリカ婦人は、2024年に創立70周年を迎えます。諸先輩方がお通り下さった尊い歩みに感謝し、更なる歩みを親神様、教祖にお誓い申し上げるべく2023年、1年をかけて「アメリカ婦人会創立70周年記念おぢばがえり」を実施致します。おぢばへお帰りになられた方は、是非お名前をお知らせください。



- ・アメリカ婦人会総会
2023年5月20日(土)午前9時30分～
対面にて開催、ライブ配信あり
よろづよ八首、主任挨拶、新入会員紹介、
スライドショー、茶話会

少年会

- ・こどもおぢばがえり少年ひのきしん隊は7月26日から29日までの期間で開催されます。少年ひのきしん隊のカウンセラーをつとめていただける方がおられましたら団長までご連絡ください。
- ・少年会おつとめまなび総会：対面で8月19日(土)に開催します。対面で参加できない少年会員、ご父兄の皆様もオンラインで少年会長様のご告辞をご拝聴ください。
- ・縦の伝道講習会：少年会本部より久保一元委員をお迎えし、8月20日(日)に開催します。

- ・「みちのこ日めくり」の英語版を各教会、布教所、出張所に一部ずつお送りしています。足りない場合はお知らせください。各家庭一部まで。
- ・日々に教えの読み聞かせを
「Let's Learn the Teachings!」(\$3.50)
「Let's take a moment」(\$4.00)
郵送をご希望の方は団長までご連絡ください。
moto1884@icloud.com
- ・少年会ハッピーの購入をご希望の方はご連絡ください。サイズによって\$20- \$30でお分けしています。郵送可。
- ・サンデースクールを再開しました！スタッフとしてお手伝いいただける方がおられましたらご連絡ください。(moto1884@gmail.com)

天理教少年会活動方針

「教祖のひながたを目標に教えを实践し、
子供に信仰のありがたさを伝えよう」

重点項目

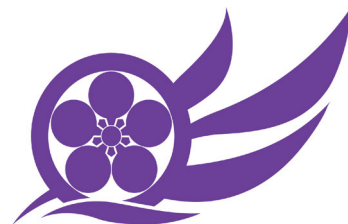
- ・子供に教祖のお話をしよう
- ・教会こども会を実施しよう
- ・地域で少年会ひのきしんを実施しよう

青年会

- ・アメリカ青年会総会
7月15日(土)午前11時於：伝道庁
- ・アメリカ青年会は、ソウルファイヤに参加するロサンゼルス近郊または州外の学生参加者を対象に助成をしています。詳細はアメリカ青年会のフェイスブック・インスタグラムをご覧ください。

ニューヨークセンター

- ・5/21 ヤードセール
- ・5/28 ファミリーBBQ
- ・7/21-27 日本語教師養成講座開催



教祖百四十年祭

全教一斉ひのきしんデー



↑イーストサンゲブル地区↓



↑ガーデナ地区



←↑ニューヨーク地区↓



↑サクラメント地区↓



↑サンディエゴ地区↓



少年会サンデースクール

祭典直後、サンデースクールに参加した少年会員の歌声に合わせて、参拝者全員で教祖のお誕生日をお祝いしました。



鼓笛隊

伝道庁月次祭の前日、鼓笛隊の練習を行っています。どうぞご参加ください。少年会員はもちろんのこと、お世話取り、また指導して下さるスタッフも随時募集しております。



TENRIKYO MISSION HEADQUARTERS IN AMERICA
2727 EAST FIRST STREET
LOS ANGELES, CA 90033

NON-PROFIT ORG.

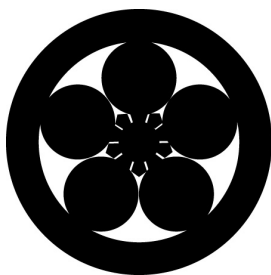
U.S.POSTAGE
PAID

LOS ANGELES. CA
PERMIT NO.30002

CHANGE SERVICE REQUESTED

THE JOYOUS LIFE

TENRIKYO came into existence on October 26, 1838, when God the Parent, Tenri-O-no-Mikoto, became revealed through Oyasama, Miki Nakayama, to save all humankind. God the Parent is the original and true Parent who not only created humankind but has nurtured and protected human beings ever since.



God the Parent created humankind so that by seeing us live the Joyous Life, God could share in our joy. The living of the Joyous Life is, therefore, the purpose of our existence. Since God the Parent is our Parent, we are all God's children, and thus we could realize that we are all brothers and sisters.

“With human beings:the body is a thing lent by God, a thing borrowed.
The mind alone is yours.”
Osashizu:June 1, 1889

We are taught that our bodies are borrowed from God the Parent and only our minds belong to us and, by the proper use of our minds, we will be able to live the Joyous Life